



令和元年度 山田小学校区 第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

10月28日（月）に開催された「令和元年度山田小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日のご発言やご意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

なお、アンケートに記載してありました『地域支え合い会議』のご案内につきましては、地域包括ケア推進課より送付いたします。

■開催概要■

| | | | |
|------|---------------------------|-----------|----------------|
| 日 時 | 令和元年 10月28日（月）19:00～20:45 | | |
| 会 場 | 市民体育館 | | |
| 参加団体 | 加茂町内会 | 山田小学校 | 民生委員・児童委員 |
| | 旭ヶ丘町内会 | 山田小学校 PTA | 三島市社会福祉協議会 |
| | 交通安全母の会 | 山田中学校 | 錦田地区地域包括支援センター |
| | 加茂保育園 | 子ども会連合会 | 保健委員会 |
| | 旭ヶ丘幼稚園 | 学校支援地域本部 | 保護司会 |
| | 旭ヶ丘幼稚園 PTA | 環境美化推進委員 | |
| | | | 出席者：19名 |

■次第■

19:00

開会・市長あいさつ

1 「コミュニティ連絡会について」

2 「各団体からの情報発信」

3 「現在の状況と事例発表」

4 「ワークショップ」

5 「アンケート記入」



20:45

市長あいさつ・閉会

「みんなが繋がるまちづくり～笑顔あふれる地域の未来のために～」のまとめ

今回の連絡会の全体のテーマである「みんなが繋がるまちづくり～笑顔あふれる地域の未来のために～」を元に「三世代交流・居場所の活用」及び「見守りのある地域づくりに向けて」のうち、各参加者が希望するテーマを1つ選択し、テーブルごとに意見交換をしました。

意見交換の結果の概要は次ページ以降に掲載しています。

三世代交流・居場所の活用

見守りのある地域づくりに向けて



■グループ別のまとめ

1グループ

テーマ:三世代交流・居場所の活用

■地域の情報を共有

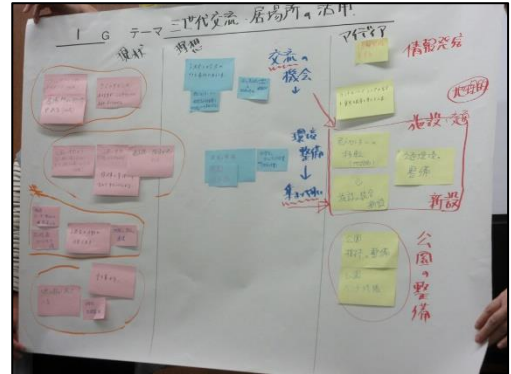
- さくらサロンなどの居場所はあるが情報が見えてこない。
- 公園は多いが草木が鬱蒼と生い茂っていたりして、環境がよくない。
- 小学校、中学校、老人センターが上手く活用されていない。
- 少子化の進行。

■理想の目指す地域

- 地域の人たちが交流する機会を増やす。
- 環境整備をし、集まりやすくする。
- 3世代交流をする。

■具体的なアイデア

- 情報発信を改善する。
- 交流作りや地域の方が気軽に集まれるよう、小学校、中学校、老人センターを複合化するなどし、施設を一新する。
- 坂道が多いので、交通網の充実、整備。
- 憩いの場である公園の環境整備をすることで、居場所を作る。



2グループ

テーマ:見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

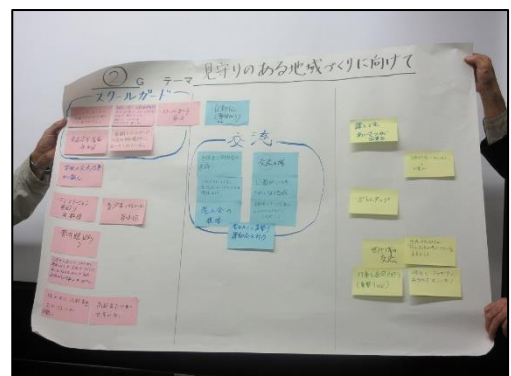
- スクールガードが活発に活動している。
- 学校の交流行事が盛ん。
- ゴミステーションの見回りを月数回実施。
- 青少年のパトロールを年4回実施。
- 要介護者の見回りをしたいが、個人情報の関係で、なかなか実施することが困難。

■理想の目指す地域

- 交流の場を増やす。
- 監視カメラを設置するなど自動化を進める。

■具体的なアイデア

- 誰とでもあいさつをし、世代間交流を活発化させる。
- それぞれの団体の活動内容を共有する。
- トップダウンではなく、ボトムアップ。



3グループ

テーマ:三世代交流・居場所の活用

■地域の情報を共有

- 地域の人々が温かい。
- 公園が静か。
- 大人と子どもの交流が増えた。

■理想の目指す地域

- 幼稚園児、小学生、中学生と高齢者が交流する機会を増やしたい。
- 集会所や老人会を増やしたい。
- 有名人を呼んでイベントを開催する。
- 季節行事として、老人会と子ども会が交流するイベントを開催する。

■具体的なアイデア

- 昼休みを利用して幼稚園児が小学校の校庭へ遊びに行くことができるようにする。
- 月に1回「お掃除の日」を設け、いろいろな人が話す事ができる機会を作る。
- 交流機会の年間計画を立てる。



4グループ

テーマ:見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

- 坂道が多い。
- 高齢者が多く住んでいる。
- 商店や店が少ない。
- 伊豆縦貫道加茂ICができ、車の交通量が増加した。

■理想の目指す地域

- 交通手段を充実させ、利便性を向上させる。
- 高齢者と子どもたちが交流する機会を作る。
- 子どもたちが戻って来てくれる地域にしたい。

■具体的なアイデア

- 山田小学校を交流の場にする。
- 男親が集まるイベントの開催する。
- コミュニティバスの運行を積極的に推進する。
高齢者も乗車してもらえれば、相乗効果生まれる。

